

差出人： メールニュース／b-active 株式会社
件名： 【セルフ・キャリアドック情報 –No.045–】

※本メールは、b-active にメールマガジン配信のご登録をいただいた方、講習会にご参加の方、および名刺交換をさせて頂いた人事の方や企業分野のキャリアコンサルタントの方にお送りしております。もしも、ご意向に沿わない場合など「配信停止」をご希望の方は、お手数ですが最下段の「★配信停止をご希望の方はこちら」からお願い致します。

メールニュース会員 各位

みなさんこんにちは！キャリアコンサルタントの植村格明（うえむらまさあき）です。「企業分野」でキャリアコンサルティング活動をされる方々のサポート機能として、少しでもみなさまのお役に立てればと思います。

【セルフ・キャリアドック情報】

今回からは連続で、1月12日（水）に開催しました ACCN テーブル 19「第9回セルフ・キャリアドック・フォーラム」での厚生労働省キャリア形成支援室長 國分一行様の「問い」へのわたくしの考えや意見をお伝えいたします。

今回は「問い1 企業においてキャリアコンサルティングを普及させるためには？」について、どのようにすれば、企業内キャリアコンサルティングへの社会認識を更に高めることができるでしょうか？

社会の認識を高めること、それは企業の持続的成長のためには人材戦略として従業員の働きがい向上とエンゲージメント強化を推し進める「キャリア自律」が必須であるとの認識の浸透です。

今後の企業の人材戦略上の課題とはどんなことがあるのでしょうか？例えば人口減少による採用課題、多様性重視による人材確保課題、長寿高齢化によるシニア活躍課題、VUCA や DX によるミドル活躍課題などが考えられますよね。

そのような環境変化に伴う人材戦略上の課題に対し、キャリア自律支援の専門家であるキャリアコンサルタントの役割が必須であるという社会や企業組織、従業員の認識が大変重要ではないでしょうか。

認識を高める施策として、健康経営やストレスチェック制度の普及手段や、衛生管理者同様の必置資格化など、企業のキャリアコンサルティング導入を後押しする国の強い施策が必要だと思います。

加えて、職業能力開発促進法の改正によるセルフ・キャリアドックやジョブカード導入の義務化や、運用責任者（職業能力開発責任者）としての国家資格者の役割の明確化と社会への PR 活動をより強化することが効果的でしょう。

特に PR 活動としては、例えばつい先日の日経新聞の一面広告での「TKC 全国会（1 万名超の税理士集団）」など、他の職能団体の活動も参考になるのではと思います。

個人との対話を通して「キャリア自律」を実現することで、人材戦略としての従業員の働きがいとエンゲージメント向上ができる唯一の役割、それがキャリアコンサルタントの真の役割であると考えます。

このような状況から考えてみますと、職能団体としての ACCN の今後の活動は実は非常に大きな役割と責任を持っており、会員と共に行動を起こす時期が迫っているように感じるのはわたくしだけでしょか？

なお、3 月度のセルフ・キャリアドック・フォーラムに再度國分室長様にご参加いただく予定ですので、企業内キャリアコンサルタントの方は、ぜひ ACCN テーブル 19 へのご参加をお待ちしております。

お問合せ：ACCN Table No19 大阪万博・共創チャレンジ事務局 team.accn.table19@gmail.com

次回は、「問い2 キャリアコンサルタントが活躍するためには？」について意見を述べたいと思いますが、ぜひ皆さまからもご意見などをいただければ幸いです。

———— キャリアコンサルタント国家資格【更新講習】受講をご検討のみなさまへ ————

【技能更新講習】セルフ・キャリアドック「面談実践」コース（6 時間）は **3 月 13 日（日）**

【技能更新講習】セルフ・キャリアドック「ワークショップ実践」コース（6 時間）は **3 月 20 日（日）**

【技能更新講習】セルフ・キャリアドック「全体報告実践」コース（6 時間）は **3 月 27 日（日）**

お申込みは b-active ホームページ <https://www.b-active.co/lecture> 「オンライン講習」

☆最後まで読んでいただき、本当にありがとうございます。

一人ひとりの「働きがい」「生きがい」と共に / すべては対話から

b-active 株式会社 www.b-active.co

Copyright© 2022 b-active Inc.